

# 明治大学大学院 政治経済学研究科 特別講義 「給食の歴史」

講師：藤原辰史（京都大学人文科学研究所 准教授）

日時：2021年6月14日（月）13：30～15：10

Zoomによるオンライン開催

学内・学外を問わず参加可能です（**事前予約必須**）  
参加をご希望の方はQRコードからご予約ください

**【事前予約期限：6月10日（木）12：30まで】**

ご予約いただいた方には別途、Zoomのミーティング情報  
をお知らせいたします。



## 【講義概要】

学校で毎日のように口にしてきた給食。楽しかった人も、苦痛の時間だった人もいるはず。子どもの味覚に対する権力行使ともいえる側面と、未来へ命をつなぎ新しい教育を模索する側面。給食は、明暗が交錯する「舞台」である。貧困、災害、運動、教育、世界という五つの視角から知られざる歴史に迫り、今後の可能性を探る。

藤原辰史『給食の歴史』岩波新書、2018年より

## 【講師プロフィール】 藤原辰史（FUJIHARA Tatsushi）



1976年、北海道旭川市生まれ、島根県横田町（現奥出雲町）出身。2002年、京都大学人間・環境学研究科中途退学。京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て、現在、京都大学人文科学研究所准教授。専門は農業史。

著書：『農の原理の史的研究：「農学栄えて農業亡ぶ」再考』（創元社、2021）、『縁食論：孤食と共食のあいだ』（ミシマ社、2020）、『分解の哲学：腐敗と発酵をめぐる思考』（青土社、2019）、『給食の歴史』（岩波新書、2018）、『トラクターの世界史』（中公新書、2017）、『戦争と農業』（集英社インターナショナル新書、2017）、『食べることを考えること』（共和国、2014）、『稲の大東亜共栄圏』（吉川弘文館、2012）、『ナチスのキッチン』（水声社、河合隼雄学芸賞；2016決定版、共和国）、『カブラの冬』（人文書院、2011）、『ナチス・ドイツの有機農業』（柏書房、日本ドイツ学会奨励賞、2006、2012新装版）。

【お問い合わせ先】明治大学大学院事務室

☎：03-3296-4150（政治経済学研究科担当）

✉：seikeiken@mics.meiji.ac.jp